

UMIN 演題: グラフィカルアブストラクト 収集・表示機能

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University Hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN グラフィカルアブストラクトとは何か？

- 通常の抄録
文章による論文・プレゼンテーションの要約
- ⇔
- グラフィカルアブストラクト
視覚的に表現された論文・プレゼンテーションの内容・主張

利点: 論文・プレゼンテーションの内容・主張したいことを直感的に明確に伝えることができる。全体の内容を順を追って要約するというよりは、端的に主張したいことを表現する場合が多い。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University Hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN 通常の抄録とグラフィカルアブストラクト

通常抄録の単独使用 ⇒ ○

通常抄録とグラフィカルアブストラクトの併用 ⇒ ○

グラフィカルアブストラクトの単独使用 ⇒ × 通常行わない

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University Hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN 1. 演題の要旨に近い形のグラフィカルアブストラクトの例

- 演題名: 臨床試験登録の意義と他の学問領域への普及について
- 著者: 木内貴弘、奥原剛、岡田宏子、後藤英子、香川由美、常住亜衣子
- 解説: 1で臨床試験登録とは何かについて図示 2で臨床試験登録の意義について図示 3で他の分野での臨床試験登録の普及に方策を述べている。全体に文章の抄録の内容に近く、図と比較して、文字の数が多い。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University Hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN 1. 演題の要旨に近い形のグラフィカルアブストラクトの例

演題名: 臨床試験登録の意義と他の学問領域への普及について
著者: 木内貴弘、奥原剛、岡田宏子、後藤英子、香川由美、常住亜衣子

【はじめに】医学領域における臨床試験登録の意義、意義、限界について解説し、他の学問分野への拡大等について考察する。

【臨床試験登録の概要】臨床試験登録とは、臨床試験の研究計画の概要を第三者機関へ事前登録して、一般公開する制度である。海外の主要な医学雑誌が、臨床試験登録を論文投稿の要件としたことから広まった。日本では、介入がある医学研究の場合には、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の3人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針により、臨床試験登録が事実上義務付けられている。臨床研究により厚生労働省に報告が必要な研究は国立保健医療科学院が運用するJRCTへ、それ以外はUMINに臨床試験登録がなされる。臨床試験登録では各言語での登録も可能であるが、英語での登録は必須であり、英語部分はWHOでデータベース化されて、インターネットで公開されている。

【考察】臨床試験登録のメリットとして、後付け解析の防止、出版バイアスの解消、市民への情報提供等があげられている。後付け解析とは、研究データが発生した後に研究計画を変更し、有利な結果が出るように研究計画を変更することである。出版バイアスとは、有意差が出なかった研究が出版されない傾向にあるため、出版された論文だけ読んでいるとバイアスが生じることである。臨床試験登録により、出版されなかった研究の追跡が可能となる。臨床試験登録では、研究計画の不正な事後の変更の予防は可能であるが、研究データ自体の改竄防止はできない。このため、臨床試験登録に加えて、症例登録データベースの運用や各医療機関等との間で相互審査が必要である。

医学分野で臨床試験登録制度が始まった理由は、臨床試験の結果が、患者・市民の健康や研究機関・製薬企業の経済的利益に直結するために、その研究不正防止が重大な倫理的、経済的に重要な意味を持つからである。しかしながら、介入のある前向き実証研究において、後付け解析や出版バイアスの解消は、医学以外の学問分野でも非常に重要なことであるため、今後は幅広く医学以外の学問領域への普及が望ましいと考えられる。臨床試験登録の普及のきっかけは、学術雑誌が論文の査読に当たり、臨床試験登録を義務付けたことであった。ヘルスコミュニケーション学問連学会主催傘下の学会誌でも、今後、前向き介入研究については臨床試験登録を要することが望ましいと考える。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University Hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN 2. 主張したい結論を端的に表現するグラフィカルアブストラクトの例(図と文字を併用)

- 演題名: 当教室におけるマスコミへのプレスリリース・記者発表の経験とこれに関する考察 —プレスリリースは、記者目録 = 読者目録で!
- 著者: 木内貴弘、奥原剛、岡田宏子、後藤英子、香川由美、常住亜衣子
- 解説: プレスリリース際には、研究者目録でなく、記者目録 = 読者目録で主張のしかたを工夫すべきであると端的に主張。図と文字を併用し、文字数が多めである。

当教室におけるマスコミへのプレスリリース・記者発表の経験とこれに関する考察

プレスリリースは、記者目録 = 読者目録で!

研究者目録

第1位: 優れた情報システムの構築 (6件)
⇒ 加齢性・高齢者・高齢看護への影響を明らかにする

第2位: ヘルスコミュニケーションの研究成果等 (4件)
⇒ 健康・医療に貢献⇒一定以上の反響を呼ぶだろう

第3位: 研究不正防止 (2件)
⇒ 日本初だが海外の二重盲検⇒ある程度の反響があるだろう

記者目録 = 読者目録

第1位: 研究不正防止 (2件)
⇒ 学術界への高い関心⇒NHKと多くの大手新聞を含めて報道

第2位: ヘルスコミュニケーションの研究成果等 (4件)
⇒ 健康・医療への関心⇒一部の大手新聞を含めて報道

第3位: 優れた情報システムの構築 (6件)
⇒ 最近まで、読者の⇒NHK、大手新聞での報道なし

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University Hospital Medical Information Network 大学病院医療情報ネットワーク

UMIN

2. 主張したい結論を端的に表現するグラフィカルアブストラクトの例 (図と文字を併用)

演題名: 当教室におけるマスコミへのプレスリリース・記者発表の経験とこれに関する考察 - プレスリリースは、記者目録=読者目録で!
著者: 木内貴弘、奥原剛、岡田宏子、後藤英子、香川由美、常住重衣子

【はじめに】当教室では、過去に12回のプレスリリースを実施し、そのうち7件については、記者発表も行った。これらの経験とこれに関する考察について発表を行う。

【プレスリリース等の経験】プレスリリースした内容は、主に研究不正防止のための情報システム(2件)、ヘルスコミュニケーション関係の研究発表等(4件)、その他の情報システム等(6件)の9つに大きく区分が可能であった。研究不正防止のための情報システムは、UMIN臨床試験登録システム、UMIN症例データベースが主で、NHK総合、産経の大手術開社の報道を含めて、多くの報道がなされた。一方で、ヘルスコミュニケーション関係のコロナ下での外出呼びかけ方法の効果、妊婦の不安、及び免許持習健康食品広告がかえって不健康をもたらすことは、新聞、Webサイト等で一定程度報道された。これに対して、臨床研究の国際標準、インターネット会議、臨床研修・臨床教育の情報システムはほとんど注目されなかった。特に臨床研究の国際標準の実践については、規格を策定した米国に先行して、世界で初めて、臨床研究データ収集を確立させたのにも関わらず、ほとんど報道されなかった。また臨床研修・臨床教育のデータ収集システムも、医療機関や大学単位でなく、国レベルで統一して運用されるシステムは、世界初であり、その実現には、政治的にも資金的にも技術的にも大きな困難が伴っていたのにほとんど報道されなかった。

【考察】プレスリリースの対象となる研究やイベントを選択すること、及びプレスリリースの内容、表現を検討するにあたっては、自分たちの目録ではなく、記者の目録に立つ必要がある。そして、記者の目録は読者の目録を強烈に意識したものであることを十分に認識する必要があると考えた。具体的には、研究不正防止関係のシステムが報道された背景には、構造的なものの不正に関する読者の高い関心が想定された。また高齢化社会の中で、健康への関心は、一般に高いため、ヘルスコミュニケーション関係の研究発表への関心も一定以上あると考えられた。報道がほとんどされなかったものは、研究者自身は価値があるように見えても、内容が抽象的、専門的で読者からはイメージしにくいものと考察された。

【結論】プレスリリースする内容の選択やその表現にあたっては、マスコミの記者、読者目録に立つ必要がある。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大病院医療情報ネットワーク

UMIN

3. 主張したい結論を端的に表現するグラフィカルアブストラクトの例 (図のみを使用)

日本のヘルスマーケティングの研究・活用は、海外より大きく遅れている!!!

PubMed文献数 "social marketing"で検索
医中誌文献数 「ソーシャルマーケティング」

PubMed文献数 "health marketing"で検索
医中誌文献数 「ヘルスマーケティング」

文獻数は、実質的にゼロ

- 演題名: 日本国内及び海外のヘルスマーケティング関連の医学文献数の推移について
- 著者: 木内貴弘、秋山美紀、瓜生原葉子、奥原剛、中山健夫
- 解説: PubMedと医学中央雑誌の検索結果の図示のみによって、英語圏に比べて、日本では、ソーシャルマーケティング、ヘルスマーケティングが非常に遅れていると端的に主張。文字はほとんど用いていない。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大病院医療情報ネットワーク

UMIN

3. 主張したい結論を端的に表現するグラフィカルアブストラクトの例 (図のみを使用)

演題名: 日本国内及び海外のヘルスマーケティング関連の医学文献数の推移について
著者: 木内貴弘、秋山美紀、瓜生原葉子、奥原剛、中山健夫

【はじめに】通常の商用マーケティングの知見、技法、経験を活用して、人々の行動を社会や本人に望ましい方向に変えることを意味するソーシャルマーケティングの概念は、1970年代にフィリップ・コトラーより提唱され、現在、海外で大きな注目を集めている。ソーシャルマーケティングの中でも健康・医療領域は最も大きな領域と考えられており、健康・医療領域のソーシャルマーケティングはヘルスマーケティングと呼ばれる。発表者は、国内の医学文献データベースにみられるソーシャルマーケティング、ヘルスマーケティング関連の文献数の推移について調査を行ったので報告を行う。

【方法】国内については、医学中央雑誌Webデータベースにおいて、「ソーシャルマーケティング」、「ヘルスマーケティング」というキーワードで検索を行い、各年毎の文献数について調査した。海外については、PubMedにおいて、同様に「health marketing」、「social marketing」というキーワードで検索を行い、各年毎の文献数について調査を行った。

【結果】国内では、「ソーシャルマーケティング」で合計134件の文献がヒットし、初出は1994年で、近年は、全体として、減少もしくは停滞傾向にあった。「ヘルスマーケティング」では、合計1件しかヒットせず、しかも検索された1件がヒットした理由は、発表者の所属名にこのキーワードが含まれたためであり、実質的には0件であった。海外では、各々「social marketing」で11,464件が検索され、定期的に増加を繰り返しながらも、全体として着実な増加が続いている。また「health marketing」で165件が検索され、同様に着実に増加を続けている。

【考察】ヘルスマーケティングは、海外で確実に医学文献数を増やしているが、国内での文献数は著しく少ない上、増加傾向もないことが明らかになった。内外で公表された文献の具体的な内容の分析や分類は、今後の課題である。ヘルスマーケティングは、今後有望な研究領域であるが、海外に比べて、日本を大きく遅れており、国や研究機関、研究者等によるこの領域の推進が望まれる。国内のヘルスマーケティング領域の研究推進のために、日本ヘルスマーケティング学会の設立とその学術集金の開催は、国内の研究者に対する広範な役割も兼ねて、重要な意義を持つと考えられる。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大病院医療情報ネットワーク

UMIN グラフィカルアブストラクトとは何か?

- 通常の抄録
文章による論文・プレゼンテーションの要約
- グラフィカルアブストラクト
視覚的に表現された論文・プレゼンテーションの内容・主張

利点: 論文・プレゼンテーションの内容・主張したいことを直感的に明確に伝えることができる。全体の内容を順を追って要約するというよりは、端的に主張したいことを表現する場合が多い。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大病院医療情報ネットワーク

UMIN

欧米におけるカラーのグラフィカルアブストラクト普及の背景

- 学術情報の電子化 (オンラインジャーナル、オンライン抄録集)
- インターネットの高容量化 (既に2K、4Kの動画像すらインターネットでやり取り)

↓

- カラーが重要なグラフィカルアブストラクトの利活用を推進
⇒紙の雑誌では、カラー印刷は非常に高い (紙の雑誌でも多くの図表が掲載されているが、通常はモノクロ)
⇒電子出版にはカラー画像提供に予算面での制約がまったくない。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大病院医療情報ネットワーク

UMIN 演題登録者へのグラフィカルアブストラクトの案内(1)

○グラフィカルアブストラクトについて

グラフィカルアブストラクトとは、演題の要旨等(要旨、結論、主張したいこと)を1枚の静止画像で表現したものです。グラフィカルアブストラクト内に図や表を複数入れることも可能です。文字の抄録と違い、一目で発表の概要が把握できるので、非常に便利で、参加者を演題に引き付けるのに役立ちます。海外で既に普及が始まっており、今後日本でも普及が見込まれます。今大会では、従来サイズのテンプレートの大きさと解像度の縦長のグラフィカルアブストラクトを使用します。ヘルスコミュニケーション学関連学会機構が提供するMicrosoft PowerPointテンプレートをを用いて作成し、PNGまたはJPEGで保存します(図、イラスト主体の場合にはPNG、写真主体の場合にはJPEGをご利用ください)。抄録集用の大きさとなるようにテンプレートを設定していますので、必ずテンプレートをダウンロードした上で作成してください。具体的なPNGまたはJPEGでの保存法はこちらをご参照ください(サンプル作成例1、サンプル作成例2)。尚、最終的に抄録本文とグラフィカルアブストラクトが組み合わされて、抄録集ではこちらのサンプルのように表現されます。

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大病院医療情報ネットワーク

UMIN 演題登録者へのグラフィカル
アブストラクトの案内(2)

○グラフィカルアブストラクト作成の具体的手順
(演題登録者への説明の例)

1. 所定のPowerPointテンプレートを用いてグラフィカルアブストラクトを作成
(主催者側が予めグラフィカルアブストラクトのPDF表示の大きさに合わせて設定したPowerPointのテンプレートを用意して、演題登録者に使ってもらう。テンプレートの大きさ・縦横は変更しないように依頼。)
2. PNG(図が主な場合)またはJPEG(写真が主な場合)で保存
3. UMINオンライン演題登録システムに文章の抄録と一緒にアップロード

13

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医療情報ネットワーク

UMIN ヘルスコミュニケーションウィーク2022
におけるアンケート調査 (n=51)

1) グラフィカルアブストラクトがあつてよかったか?

回答	割合
とても思う	20%
そう思う	29%
どちらともいえない	36%
そう思わない	10%
全くそう思わない	2%
よくわかりません	4%

資料提供: 阿部恵子先生(金城学院大学)

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医療情報ネットワーク

UMIN ヘルスコミュニケーションウィーク2022
におけるアンケート調査 (n=51)

2) 今後も継続してグラフィカルアブストラクトがあると
良いか?

回答	割合
とても思う	20%
そう思う	26%
どちらともいえない	39%
そう思わない	10%
全くそう思わない	2%
視覚障害者には情報が得にくい	1%
よくわかりません	2%
気づかず	1%
利用していない	1%

資料提供: 阿部恵子先生(金城学院大学)

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医療情報ネットワーク

UMIN 今後の課題

- ・ 各学会へのグラフィカルアブストラクトの普及広報
⇒多くの学会でのグラフィカルアブストラクトの収集・配信が望まれる。
- ・ 各研究者のグラフィカルアブストラクト作成への習熟
⇒より直観的にわかりやすく、説得力のあるグラフィカルアブストラクトが自作できるように各自で習熟が望まれる。
- ・ グラフィックアブストラクトの自作と外注
⇒お金がある場合には、プロに外注すれば、よりよいものが作れるが、プロに頼む場合であっても、自作に習熟しているの方が賢い発注ができる。

16

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医療情報ネットワーク

UMIN まとめ

- ・ グラフィカルアブストラクトの活用により、より直観的でわかりやすい医学学術情報の交流が可能となる。
- ・ UMINオンライン演題登録システムに、グラフィカルアブストラクトの収集・配信機能を標準機能として追加した。
- ・ 上記は、今後の日本におけるグラフィカルアブストラクト普及のための重要なインフラとして役立つことが期待される。

17

UMIN Infrastructure for Academic Activities
University hospital Medical Information Network 大学院医療情報ネットワーク